



SCOUT CHIBA

スカウト ちば

平成22年度の目標
広めよう!
スカウティングの
楽しさをみんなに

発行：日本ボーイスカウト千葉県連盟
運動拡大委員会
発行責任者：小川 信一 編集長：上野 孝

〒263-0016 千葉市稲毛区天台6-5-2 千葉県青少年女性会館内
TEL 043-287-1755 FAX 043-287-1786

<http://www.scoutchiba.jp/>

	団数	隊数	団委員	指導者	スカウト	その他	計	ビーバー (BVS)			カブ (CS)			ボーイ (BS)			ベンチャー (VS)			ローバー (RS)		
								隊	指	ス	隊	指	ス	隊	指	ス	隊	指	ス	隊	指	ス
登録数	117	550	1,518	2,288	5,510	3	9,319	110	448	874	116	927	1,593	115	505	1,494	115	268	925	94	140	624
前年度末数	119	557	1,644	2,447	5,830	2	9,923	112	479	1,018	117	1,015	1,661	117	522	1,591	115	282	949	96	149	611

[加盟登録状況]平成22年2月末日現在

楽しみな 第15回日本ジャンボリー! 15NJ千葉県連盟実行委員会委員長(派遣団長) 伊藤 知

第15回日本ジャンボリー(通称15NJ)が、4カ月後に迫りました。スカウト諸君は、既に隊編成を終えて集会など、色々と準備をされているものと思います。ご存



アリーナ予定地からの富士山

知だと思いますが、2015年に第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)が日本で開催されることになりました。15NJでは23WSJの要素を取り入れた大会になるよう、大会期間や参加形態、プログラム、運営組織を設定しています。



15NJ千葉県シンボルマーク、最優秀賞-1(左)、-2(右)
東葛地区 柏第1回ボーイスカウト隊 青木美徳さん

会場は1971年に日本で開催された13WJの会場と同じ富士山麓、朝霧高原で行われます。大会参加者は2万人を予定、大会を円滑に運営するために本部要員2千人によりスカウト諸君をサポートします。一番の気掛かりは、小学生スカウトの参加が見込まれ、ホームシックや体力を心配しています。今から十分なトレーニングをしてください。

本部要員は、夜は成人生活エリアで過ごし、昼は担当する部署に出かけていきます。スカウト諸君の生活するサブキャンプには担当者20人~30人が配属され、皆さんをサポートしてくれます。このサブキャンプは8か所あり、千葉県連盟の隊は5か隊ずつ4か所に入っていただきます。会場の一番遠い所までは徒歩で凡そ1時間半か



13WSJ朝霧アリーナに建つ記念碑



現地での、キャンプ風景

かりますので、仲間のスカウトに会うには大変なことと思われます。せっかくジャンボリーに参加するのですから近くの他県連盟や海外のスカウトと交流する機会を増やしてください。そしてプログラムを大いにエンジョイしてください。多分ジャンボリーから帰る頃には一回り成長した諸君に会えるでしょう。さて、当県連盟では20部隊と本部要員、派遣団本部要員など総勢932人が参加します。この大派遣団を送り出すために、昨年10月から15NJ実行委員会を組織して準備を進めています。総務部、会計募集部、情報渉外部、輸送部、調達施設部の5つの部門に各地区から担当者が派遣され、スカウト諸君が安全、快適に参加できるよう準備をしています。

鈴木 国夫 副連盟長おめでとうございます

戦後間もない1950(昭和25)年、小学生だった鈴木少年はボーイスカウトの制服に憧れていました。担任の先生が隊長をやっていたこともあり、戦後の千葉県ボーイスカウト



中学1年生のころ

運動誕生の地である市原第1隊に6年生で入隊しました。それから中学、高校、そして大学ではローバー活動、20歳でリーダーへと、まっしぐらに活動に打ち込んでこられました。

就職した後は、なんと会社の中にもボーイスカウト団をつくりました。そして市原第1団の各部門の隊長、団委員長、市原地区をつくって最初のコミショナー、そして千葉県連盟のコミショナーを12年間されて、県内のスカウト教育に全力を注いでこられました。

平成13年からは日本連盟の総コミショナー、つまり日本のボーイスカウト運動の教育部門の責任者として、4年間がんばってこられました。さらに、スカウト運動がますます発展していくためには何か必要かも考えて、県連盟の理事長としての責任を果たされ、昨

ボーイスカウト千葉県連盟 事務局長 星 淳一

年からは県の副連盟長として活躍されています。

これらのご功績により「旭日双光章」という勲章を天皇陛下よりいただきました。本当におめでとうございます。



[旭日双光章]叙勲 平成21年11月9日

第11回 千葉県ローバームート開催報告

平成21年8月21日～23日 千葉市土気 昭和の森キャンプ場

第11回千葉県ローバームート実行委員会 議長 岩松 剛(八千代・習志野地区八千代第2団ローバースカウト隊)

今回の大きなテーマとして「社会貢献活動」を掲げました。全体の流れは、初日に社会貢献活動についてのフォーラム、2日目に実際に社会貢献活動を行い、最終日には2日間のまとめと、自分たちのこれからのローバリングについて意見交換を行いました。

今回のムートのメインである2日目の社会貢献活動は、実行委員が谷津干潟清掃と土気駅前での献血の2つのプログラムを用意し、当日はその2つの活動に参加する班を生活班として編成し、班単位で3日間行動を共にしました。しかし、残念ながら谷津干潟清掃については、先方との折り合いがうまく付かず、谷津干潟の環境について学ぶという形になりました。

初日は開会セレモニーの後、アイスブレーキングを行い、緊張感をほぐしてからフォーラムに移りました。フォーラムの導入として、増田県連盟コミッショナーからローバースカウトに期待することにつ



いてお話ししていただきました。フォーラムの内容は、まず各々の自己紹介とスカウト歴や活動状況、そしてローバリングについて、最後に社会貢献活動について、自分達に期待されていることや、行うことについての意義や価値について話し合いました。献血班は2日目の準備として配布用の献血ティッシュの準備をしました。

2日目は、屋外に出て、それぞれの班ごとに社会貢献を行いました。献血班は日本赤十字社千葉県支部のご協力の下、土気駅前に献血会場を用意し、道行く人に献血のお願いをしました。スカウト自身もちろん献血に協力し、また多くの方に献血をしていただき目標人数を上回る結果となりました。

干潟班は谷津干潟到着後、干潟を一周しながら実際の干潟の様子を観察した後、干潟センターにて干潟の歴史と現状のお話を聞かせていただきました。実際の活動は行えなかったのですが、干潟の重要性や環境維持について学び、班員全員の干潟に対する意識が変わり、活動が行えなかったことを本当に悔やんでいました。

2日目の夕食にはバーベキューを行い、とても盛り上がり、参加者間の友好を深めることが出来ました。

最終日のまとめには、まさにローバーらしい話し合いと報告が行われました。一



人一人が社会貢献について意見を出し合い、継続的な活動と地区を越えた仲間との活動も視野に入り、非常に有意義な時間となりました。また県連盟から多くの方々のご出席くださり、そこでも自分達に掛けられている期待を感じる事が出来ました。

今回のムートを終えて、成人指導者から、次回開催を期待する声聞こえたのはもちろんですが、何より参加者からの次回開催への意欲や、具体的目標が出てきたのが実行委員会議長として一番うれしかったです。

最後になりましたが、ご出席くださった県連盟役員の方々、実行委員会をサポートくださった成人指導者の皆様、計画から実施まで約10カ月一緒に頑張った実行委員メンバー、そして参加して下さったローバ並びにリーダーの方々、皆さんのおかげで第11回千葉県ローバームートが素晴らしいものになりました。ご協力、ご支援をいただきました皆様に心より感謝申し上げます。

平成21年度 日韓スカウトフォーラムに参加して

松戸・鎌ヶ谷地区 鎌ヶ谷第2団ベンチャースカウト隊 中山 このみ

私は平成21年1月9日～11日までの3日間、マロウドインターナショナルホテル成田で開催された平成21年度日韓スカウトフォーラムに参加しました。

このフォーラムは日韓スカウト交歓計画のスタートとなるプログラムで、テーマは「よりよき理解・明るい世界」です。ちなみに日韓スカウト交歓計画とは、韓国のボーイスカウト、ベンチャースカウトを日本に招待し、フォーラムや見学、ホームステイ等を通じて相互理解と友好をより深める事を目的としています。

私は最初、海外派遣や韓国への興味だけで参加志願しましたが、リーダーや団の皆さん、先輩の指導を受けるうちに、自分がフォーラムへ行く目的、目標が次第に明確になりました。それは、韓国の服装のTPO事情、日韓両国のスカウト活動の歴

史、B-P祭等のスカウト行事の行い方などについて意見交換し、相互理解を深める事でした。

ところが、期待して待っていたフォーラムの参加通知を見て、私は愕然としました。英語が苦手な私が、なんと通訳なしの英語でのディスカッショングループに入っていたのです。当日不安な気持ちで



成田へ向かいましたが、実際参加してみるとグループの仲間は皆やさしく、英語が苦手だと言うと、ボディランゲージで伝えようとしてくれたり、絵を描いてくれたり、通訳してくれたり、と私がディスカッションに参加できるようにサポートしてくれました。この結果、ディスカッションは終始、和やかに行われました。

3日間という限られた期間では、私の語学力不足もあり、目標を十分に達成できませんでしたが、言葉の壁は互いに理解しようという気持ちがあれば、少しずつでも取り払うことが出来ると学んだ大切な時間になりました。

最終日に行われた全体発表では、多くの素晴らしい意見が出されましたが、その中で私が一番印象に残ったのは、「世界中の現在活動していないOBスカウトで1つ

の大きな会を作り、今後の私たちの活動へ協力してもらおう」というものでした。すでに、HPも出来ており、その実現に向けて着実に近づいています。

最後に、フォーラムでの一番の収穫は、韓国や国内にたくさんの仲間ができたこと

です。現在もグループの仲間と、メールで文通しています。

今年、また韓国で行われる韓日フォーラムで、ここで出会えた仲間との再会や、出来なかったことをやり遂げることを目標に、日々スカウト活動に励みたいと思います。

また、今度こそ自分の言葉で伝えられるように、もっと英語、韓国語を勉強しようと思います。

今回私に、このような素晴らしい経験が出来る場を与えて頂いた事に、本当に感謝しています。ありがとうございました。

平成21年度 日米スカウトフォーラム参加報告

上総地区 市原第6団ベンチャースカウト隊 森 啓太

僕は、平成22年2月6日から7日にかけて行なわれた平成21年度日米スカウトフォーラムに千葉県代表として参加してきました。このスカウトフォーラムは、1泊2日でマロウドインターナショナルホテル成田というところで開かれました。日本のほとんどの都道府県から代表が1人ずつ合計40人と米国スカウト32人が集まり議論しました。フォーラム中は8つのグループにわかれ、「新しいスカウティングの世紀・新しい始まり」～New Scouting Century, New Beginning～というテーマの下、自分たちに何ができるか、どのようなことをすべきか、ということについて話し合いました。

僕のグループは米国スカウト4人、日本スカウト4人の8人グループだったのですが、このフォーラムの議論中は基本英語で僕のグループは通訳がいなく、始めは米国スカウトばかりが発言・意見を出し、日本スカウトはそれに引張られる形になってしまいました。このとき僕は、同い年の



米国スカウトがしっかりとした意見を持っていることにカルチャーショックを受けました。しかし時間とともにその雰囲気打ち解けていき、夜の歓迎夕食会、またその後の団楽により米国スカウトと仲良くなることができました。このときには、自分でも驚いたことに、人見知りもなく気軽に米国スカウトに英語で話しかけられるようになっていました。

このように1日目ではなれたことにより、2日目の議論はスムーズに進みました。2日目には日本人スカウトも自ら発言するようになり、たとえ英語を間違えたとしても、米国スカウトがそれをフォローし良い雰囲気でも議論が進んでいきました。最後自分たちの意見を紙にまとめるときは、米国スカウトのジョークなどで笑うなどとても楽しい雰囲気になっていました。

僕たちのグループで出た意見は次の通りです。

- ・現在ボーイスカウト人口が少なく、大きな活動をする事ができない。そこで自分たちがまず地元など自分のまわりで他の人々の模範となり、まわりの人々にスカウティングの良さを伝え、スカウトを増やしていく。
- ・ゆくゆくは世界中にスカウティングの精神を広める。

最後に8つのグループすべて



の意見をまとめ、新しいスカウティングの世紀で僕たちに何が出来るかについて採択文を作りました。その要旨は「スカウトは周りの社会の模範となり、ひびいていくべきである。そしてスカウティング、B-Pのメッセージを私たちの手で世界中に広げていく。」ということです。

僕は今回このフォーラムに参加し、初めて海外のスカウトと意見を交わし、議論しました。そのことにより、海外のスカウトとの共通点や考え方の違う点を見つけることができました。これは、とてもよい経験であったと思います。

そして今回この採択文は自分たちで意見を出し決めたことなので、率先して行動したいです。そのために、この採択文にあるようにまずは身近なところからスカウティングを広め、ボーイスカウトを大きなものにしていきたいです。

スカウトに越えられない壁は無い

香取東総地区 香取第1団ローパスカウト隊 柳原 宏樹

私が今回平成21年度日米スカウトフォーラムのローパススタッフ奉仕に志願した理由は、ボーイ隊の時に日韓スカウトフォーラムに参加し、楽しく貴重な体験ができたことが大きな理由だ。そのような国際交流を行うスカウティングの場で、昔の自分と同じような意義ある経験を後輩スカウト達にも味わってもらいたい、そのために自分が少しでも役に立ちたいと思ったのだ。

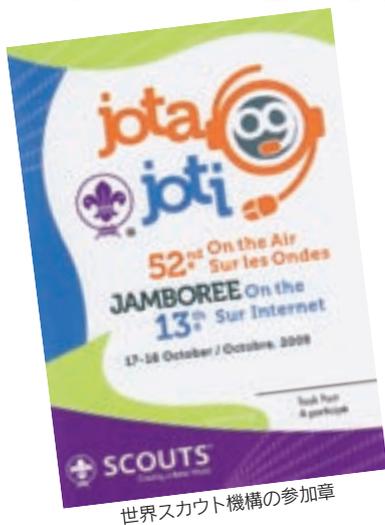
当時もローバーのスタッフがグループごとの分科会を上手にファシリテートし、フォーラムを成功に導いていた。しかしそれを踏まえた上で、あまり話し合いに関わりすぎてもいけないし、油断していると

話し合いの場が膠着してしまうこともあると事前研修の時に学んでいた。分科会が始まる前も不安だったが、終わってからも「グループはうまく意見交換できただろうか？導き方はよかったですか？」と、不安でたまらなかつた部分もあった。しかし、そんな不安を払拭してくれたのは、担当したグループのベンチャースカウト達の言葉だった。来日スカウトとの交流を終えてあるスカウトは、「普段できない英語の会話が楽しめてよかった」と言った。またあるスカウトは「最初少し話が出にくかったけど、お互いの活動の話とかしたら一気に距離が縮まった気がした、言葉が少しくま話せ

なくてもスカウトなら通じるんだって思った」と言った。私は改めて気がついた。スタッフがそんなに不安にならなくとも、私達ボーイスカウトは国や言葉が違っても通じ合えるのだ。世界中の仲間とスカウティングを通して楽しむことができるのだと。

そんな大きな力を発揮してくれた全国の参加スカウト達、実行委員会、日本連盟の事務局員の方々や多くの方々からの支援を受けながら奉仕した自分自身も貴重な経験をさせていただいた。一人のスカウトとして感謝の心を忘れず、これからのスカウティングに今回の経験を存分に生かしていきたい。

JOTI、JOTAで、日本中 そして世界中のスカウトと交流しよう!



世界スカウト機構の参加章

みなさん、JOTI (ジヨティ)、JOTA (ジヨタ) を知っていますか?

JOTIはジャンボリー・オン・ジ・インターネット、JOTAはジャンボリー・オン・ジ・エアのこと。世界スカウト機構が主催する公式国際行事で、JOTAは今年で52年目、JOTIは13年目を迎えます。国内外のスカウトとアマチュア無線とインターネットで交流し、相互理解と、知識と友情を深めることを目的としています。

毎年10月の第三週末、土日に行なわれて、世界中から50万人以上のスカウトが参加します。参加費は無料。また一人でもグループでも参加できます。



ボーイスカウト千葉県連盟交信証

昨年10月17～18日の大会では、千葉県連盟として千葉県青少年女性会館に会場を設けましたが、今回の参加者は全員、スイスの本部やオーストラリア、ニュージーランド、そしてアメリカのスカウトと会話することができました。感想文を一部紹介しましょう。

それまでJOTIをまったく知らなかった私だが、実際に参加してみると意外なおもしろい。自分で言うのもなんだが、他団・他県・他国のスカウトたちと交流する機会は他のスカウトよりも多かったと思っている。だからその他のスカウトと交流する楽しみは誰

よりも知っている。

JOTIでは相手の顔を見ることはできない。しかしスカウトと交流するという点では同じことである。他のスカウトと交流することで、それまでの自分の価値観・世界観が変わってくる。新しい自分を創るということもこの

JOTIが与えてくれると思う。より多くのスカウトにこうした交流を促進してもらいたい。そうすればスカウト活動をより活発なものにすることができるだろう。来年のJOTIが待ち遠しい。

(富津第1団ベンチャースカウト隊 宇山健太)

僕は今年、JOTIに参加して4年目になります。今年は、今まであまり話題に出なかった進級のことや、スカウトSNS (スカウト関係者限定のSocial Networking Service または Social Networking Siteでインターネット上、仲間が集まってコミュニケーションする場所)、技能章、アワードなど、新しい会

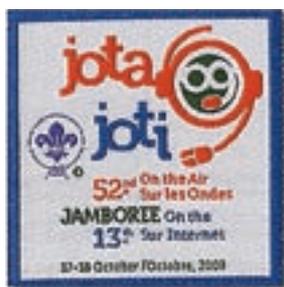
話が増えました。例年よりもコメントの数が多く、またコメントとコメントがしっかりと会話になっていて、いろいろな人が参加していました。今後もこの交流の場に多くの人々が継続的に参加してくれたらいいと思いました。

(千葉第1団ベンチャースカウト隊 十枝伸英)

モールス信号の体験コーナー



モールス信号を体験しました



世界スカウト機構発行のワッペン



JOTIに参加するスカウト



スカイプで相手の顔を見ながら交信しました



ボーイスカウト日本連盟発行のワッペン



エコーリンクを使って交信しています

県内各地区の隊活動便り

ほろ苦い隊集会

南総地区 木更津第2団 ピーバースカウト隊隊長 高橋 克典

平成22年1月10日(日)、木更津第2団のスカウト全員が団本部のお寺選擇寺に集まり、新年お茶会をおこないました。



ボーイスカウト隊がみんなのために去年の11月からお茶の立て方や作法を練習してくれていたようです。

ピーバースカウト隊が始めに会場に呼ばれました。副長から「座ってお辞儀して左足から中に入りなさい」と言われたのですが、歩いているうちに右足か左足がよくわからなくなっていました。

座ったら今度はお菓子が出てきました。だけどいつも家で食

べているようなお菓子じゃなくお饅頭でした。「どうぞ召し上がれ」と言われたのでいただきました。

そして、初めに隊長の前にお茶が運ばれました。お辞儀をして、お茶碗を手のひらにのせてくるくる回したあと、飲みました。とてもおいしかったです。

次にピーバースカウトの前にもお茶が運ばれてきました。お茶碗の中を覗いたら濃い緑色をしていて、飲めるのか不安そうでした。副長が「むずかしいからお辞儀をしたり、お茶碗を手のひらにのせてくるくる回したりしないでいいよ」と言ってくれました。

ボーイスカウト隊のお兄さんから「どうぞ」と言われたので飲みました。そうしたら熱いし、苦いのでたいへんでした。その様子を見てみんな笑っていました。

会場を出てから隊長からピーバースカウトに「おいしかった?」と聞きました。みんなは「びみよー」って言っていました。

お饅頭のお菓子はおいしかったけど、何だかすこし苦い隊集会でした。



新春に二つの隊集会

北総地区 野田第1団 カブスカウト隊隊長 染谷 恵介

野田第1団カブスカウト隊には、毎年1月に行う事があります。それは、成人の日にあわせて行われる野田市新春集会への参加と、お正月遊びの隊集会です。

今年の新春集会は関宿中央小学校で行われ、市内のボーイスカウト・ガールスカウトのみんなが集まりました。この日は天気が悪く、とても寒い1日でしたが、2人3脚、玉入れ、綱引き、色対抗リレーといった体をたくさん使うゲームと恒例のトン汁を食べて体はポカポカ・・・。元気一杯遊ぶことが



ができました。

次にお正月遊びの隊集会。今年は凧揚げをしました。自分の凧や糸巻きを作ることからはじめます。隊長の作った試作品をまねて・・・と。同じに作ったつもりでもみんな少しづつ違います。

まっすぐ高く上がる凧、ユラユラ踊る愉快的な凧。でも、自分の作った凧が空高くあがったときは本当にみんな感動しました。思わず上を見て口が空きっぱなし・・・(笑)。

みなさん、凧揚げの由来って知っていますか? 中国から伝わった魔術で春を呼ぶ儀式の1つなんだそうです。暖かい春が早く来るようにと、みんなでお祈りして隊集会は終わりました。野田第1団カブスカウト隊は外での活動がほとんどです。みなさんも是非遊びにきてください。



Together Again (また一緒に活動しよう!)

印旛地区 15NJ千葉第5隊 隊長 上代 繁

印旛地区では、第15回日本ジャンボリー(以下15NJ)に向け、事前訓練が始まりました。最初の顔合わせは10月25日。参加スカウトの自己紹介と班編成が中心でした。2回目は11月29日。佐倉市の草ぶえの丘キャンプ場で、テント設営、班旗作り、薪を使った調理などを中心に行いました。

印旛地区では、一昨年8月、Together Again(また一緒に活動しよう!)をテーマにボーイスカウト大会を行いました。いつも活動する班や隊の仲間だけでなく、同じ印旛地区内の他の隊のスカウトや指



導者と親交の輪を広げ、日ごろ培った技能を発表する場となりました。

昨年7月、料理コンテストと追跡ハイキングを中心とした印旛地区ボーイ部門交流大会を行い、再会を果たしました。そして、10月に15NJ千葉5隊として、印旛地区派遣隊が結成されました。千葉5隊は、これまでの印旛地区での交流を通して最初から仲良しです。今後は15NJに向け、さらにパワーアップしていきたいと思えます。事前訓練のスローガンは、「元気、勇気、根気」です。いつも元気よくきはきと、新しいことにも勇気を持って挑戦し、難しい課題にも根気よく取り組むことを目指しています。

千葉県のスカウトの皆さん、Together Again(また一緒に活動しよう!)ぜひ、15NJ会場で笑顔はじける千葉5隊に会いに来てください。



ゲット!! 富士章・千葉県連盟隼章・菊スカウト章 取得スカウト

平成21年8月19日～平成22年2月2日

富士章				千葉県連盟隼章				菊スカウト章				菊スカウト章			
鳥取	将之	君津	2団	菱木	奈津美	富里	1団	鈴木	大	市川	3団	大内	卓也	流山	3団
阪田	麻未	君津	2団	宇山	健太	富津	1団	高橋	拓也	市川	3団	井出	響子	我孫子	2団
西川	侑那	市川	3団	森山	直輝	千葉	1団	小林	佳織	浦安	2団	地曳	周嶺	木更津	2団
窪	和隆	四街道	1団	長谷川	新	千葉	25団	小島	涼	流山	5団	鈴木	勇武	船橋	20団
柏原	淳太	千葉	1団	十枝	友美	千葉	1団	吉野	朱夏	流山	5団	小林	明音	栄	1団
宇山	健太	富津	1団	瀬尾	聡	千葉	1団	岩井田	慧祐	千葉	18団	近藤	祐希	栄	1団
浮谷	駿宏	八千代	2団	卯田	榛菜	千葉	1団	関口	裕也	柏	9団	吉野	匡彦	習志野	2団
				浦邊	賢吾	野田	1団	鮫田	直樹	我孫子	1団	中村	優太	野田	1団
				平池	真美	松戸	6団	今野	威	我孫子	2団	宮崎	まりえ	茂原	2団
				尾崎	開	柏	1団	深瀬	喬俊	八千代	2団	板倉	結菜	流山	3団
								大西	麻奈	流山	5団	久我	葉月	柏	4団
								武田	愛海	野田	7団				

富士章取得に思うこと

南総地区 君津第2団 ベンチャースカウト隊 阪田麻未

私が富士章を取得することが出来たのは、12年間ボーイスカウト活動が続けてきた積み重ねがあってこそのことだと思います。こんなにも長い間続けてこれたのは家族、仲間、指導者の方々を支えて下さったおかげです。私は長い間活動を続けてきて、私たちの年代に欠けている目上の人を敬う、挨拶をする、今自分が何をしなければならないのか自分で考

えて行動する、などの当たり前のことを当たり前のこととして行うことが出来るボーイスカウト活動が実はとても貴重な時間だと感じています。今後は、この貴重な時間をお世話になった指導者の方々の役に立つためにローバースカウトとして、後輩のバックアップや団の行事を企画・実行していきたいと思います。また、当たり前のことを当たり前のこととして

行い、私の家族のように将来出来るであろう、未来の家族から尊敬されるような良き社会人になることを目標に「ちかいとおきて」を実践していきたいと思っています。



わが地区自慢のキャンプ場紹介

「船橋市立大神保青少年キャンプ場」 船橋地区

船橋市立大神保青少年キャンプ場は船橋市の北部に位置し県道の東向側にはアンデルセン公園があり、船橋市泉民の森と融合した広い森の端にあります。最寄駅の新京成線三咲駅から約4km、バスにて10分程で「泉民の森」バス停に着きます。北総線白井駅からも約3km程の距離に位置しています。乗用車は70台程まで研修棟の「さざんかの家」と共有の駐車場が利用できます。キャンプ場の広さは77801㎡で東京ドームの1.7倍です想像してください。

テントサイトは3カ所に分かれていて



管理棟から歩いていくとそれぞれ炊事棟・トイレがある第1(100人収容)、避難棟もある第2(150人)となり、一番奥により自然な環境でカマドのみ設置された第3(50人)キャンプ場があり300人の収容規模になります。テント(A型、ドーム)鍋、薪(有料)の準備もあり、利用(無料)は船橋市の青少年課に事前に(市民は3カ月前、市外団体は1カ月前より)申請して使用許可書を発行して頂き当日管理人さんに渡して使用します。

春は桜、秋は紅葉、冬はボーイスカウトが、夏は蚊も少し出てきますが、コゲラ



がコンコンと訪問する声が聞こえる静かな森です。地区の行事に、各団の活動に自前のキャンプ場のように「大神保」の言葉で親しみ活用しております。船橋市の自然の残された森を大事に感謝のみを残し日々利用させて頂いています。



キャンプ場問合わせ

船橋市役所内 船橋市教育委員会青少年課
船橋市湊町2-10-25
☎ 047-436-2903 (fax 047-436-2884)

第1回 千葉県ベンチャー(1CV) 準備進む! ~Let's 寅威(レッツ・トライ)/他団との交流を広めよう~

日程は3月26日から29日までの3泊4日。ボーイスカウト日本連盟的那須野野営場で行なわれます。

本紙がお手元に届くころにはすでに終了していますが、第1回千葉県ベンチャー(1CV)の準備が進んでいます。この新たな試みについて、第1回千葉県ベンチャー実行委員会委員長鈴木俊雄さんにインタビューしました。

目的と目標

「ベンチャースカウトには、隊活動や団行事だけでなくより広い活動の場があります。それがフォーラム活動で、すでに実際に参加している人も多いでしょう。地区のフォーラムでは、テーマを決めてスカウト同士で議論し意見交換しますが、今回はこれを県レベルで、それも野営生活をベースに行なおうとするものです。」

「私は、各地区の代表スカウトだけのフォーラムではなく、千葉県全体のベンチャースカウトのフォーラムとしたい。また隊を設置して、隊運営会議の主導によりキャンプ生活を通して行ないたい。そしてスカウト自らが定めるテーマについて討論し、『スカウトフォーラム宣言』を採択することを目指したいと考えています。」



19年度千葉県ベンチャーフォーラム(19CVF)集合写真

地区提案テーマ

最後に1CVに向けて各地区から提案されたテーマについて紹介しておきましょう。

(八習)時を忘れるスカウティング・レッツトライ。(松鎌)知ってもらおうボーイスカウト。



2月7日第3回1CV隊会議

(南総)スカウト活動の輪を広げよう。(東葛)スカウト技術と意識の向上。(北総)ボーイスカウト活動と地域交流。(市浦)地区から交流の輪を広げよう。(船橋)地区の力を強化しよう。(千葉)他団との交流を広めよう。(印旛)スカウト間の境をなくそう。(香東)メンバーの関係を密接にし、お互いが刺激しあい技術の向上を目指そう。



2月7日第3回1CV隊会議

(上総)星について知ってもらおう(BS、CSのキャンプを企画する)。

以上です。各地区代表スカウトが集うこのイベント、次号で結果をお知らせする予定です。

議長発言

このイベントを進めてきた議長、2人に本番に臨んでの抱負を聞きました。



全体議長

香川景章(柏第2団)

「やるときはやる! 1CVをぜひ成功させたい。」



フォーラム議長

鈴木貴也(印西白井第1団)

「みんなをまとめられるように努力し、採択したフォーラム宣言を後輩にしっかり伝えていきたいです。」

フォーラム

各地区での議論を通じて、今回のテーマは、「Let's 寅威! 他団との交流を広めよう」に決まりました。このテーマに決まる過程では、「スカウト自身が相互に交流を深め、活性化することこそが、スカウト活動を世の中知ってもらう第一歩だ」という意見が多数出されました。



19CVFフォーラム風景

野外活動



19CVFパイオニアリング橋脚完成

ディアン(北米インディアンの)のテント)作りに加え、場内の木立の間伐を行なって、橋脚の設営にチャレンジすることになりました。

スカウトでなければ、そしてこのフォーラムでなければできないこと、心に残ることを軸に皆で検討しました。その結果、野営場に自生する竹を使ったティピー(北米イン

第6回 軽度発達障害勉強会 報告

千葉県連盟 安全委員会委員長 南 正晃

平成21年10月24日(土) 柏市沼南公民館にて「第6回軽度発達障害勉強会」が開催されました。

今回の参加者は、ボーイスカウト関係者87人、一般15人(スクールカウンセラー、病院、学校関係者など)、ロータリークラブ関係者12人、ガールスカウト関係者5人、奉仕者数23人 合計142人でした。最近、ボーイスカウト関係者以外の方々の参加が多くなってきております。

午前中は、肥田クリニック院長肥田裕久先生より、パワーポイントを使い視覚的により分かり易くお話をいただきました。

・軽度発達障害の最大の問題点は、コミュニケーション能力が不十分であることにより、些細な出来事でパニックになり、興奮や暴力が現れる。
 ・「違う」から「違い」への転換が大事である。
 [「違う」は、切断してしまう。「違い」は自分と相



手の違いを認識すること。] などのお話をいただき、コミュニケーションの大切さを強調していただきました。
 午後からは、心理療法師の越森誠氏(市川第2団ボーイスカウト隊隊長)より、心理学の立場から、大人の支援の大切さ、子供たちが一緒にいると「心地よい」と思うような大人の姿勢と「違い」を理解した個々への個性教育や継続性のあるコミュニケーションの環境づくりなど大人が子供たちに接する際の視点をお話いただきました。また、実際の活動時での具体的な方法も教示頂きました。
 最後に、「人生はリカバリー出来る」「心をこめて」の言葉をいただき、多くの方々の参考になる勉強会でした。



新 地区だより

松戸・鎌ヶ谷地区



カブスカウト隊合同キャンプファイヤー



ビーバーラリー

松戸・鎌ヶ谷地区は、昨年地区創立30周年を迎え、“誰もが参加し、誰も記憶に残る記念行事を”と下記の行事を実施しました。この間、私たちは組織による活動の大切さ、各団の協力の有難さ、正確な記録保存の重要性など、多くのことを学びました。

***記念行事**

- ・ビーバーラリー(7月5日/21世紀の森/テーマ「原始人と遊ぼう」)…全員ガウンで原始人に扮装し、混成チームを作って五つのゲームコーナーを巡り楽しくチャレンジ。
- ・カブ隊合同キャンプファイヤー(8月23日/鎌ヶ谷第2団野営場/テーマ

「友達のわ、いつも元気!」)…交流を深めるために、各団の組を四グループに分け、協働して簡単な料理を作り会食、名刺交換。その後ファイヤーを囲み歌やスタンツを楽しんだ。

- ・地区キャンポリー(7月29日~8月2日/日本連盟那須野営場)…県キャンポリーに代わるものとして1年前から計画。しかし直前の新型インフルエンザの世界的流行のために、安全対策に大わらわ。規模・プログラムについてスカウトの反応は好評でした。
- ・ベンチャースカウト雪中キャンプ(3月19日~22日/長野県下水内郡栄村)…例年になく雪が少ない中で設営、除雪体験、地元小学生との交流雪合戦を行った。
- ・ベンチャー&ローバー部門リーダープロジェクト(7月17日~20日/身延山~朝霧高原)…15NJの下見を兼ねて自



地区キャンポリー

編集後記

冬季オリンピックと同じ年に開催されてきた「日本ジャンボリー」は、15回を迎えまもなく開催されます。

昭和46年(1971)第13回「世界ジャンボリー」が行われた「富士山・朝霧高原」にて開催です。今号の巻頭には、その記念碑や参加スカウトたちが目の当たりにするであろう、富士山の雄姿や朝霧高原のキャンプ情景など、ボーイスカウト日本連盟より提供をうけました。

JOTA/JOTIのページでは、日頃目にしない交信カードや参加証、ワッペンなど魅力的なグッズを紹介致しました。第1回千葉県ベンチャーの記事は、開催日が原稿締切日以降のため、一部写真については、平成19年度千葉県ベンチャーフォーラムのものをイメージとして使用しています。

編集長 上野 孝

	回数	隊数	団委員	指導者	スカウト	計
登録数	12	59	223	189	515	927

(加盟登録状況)平成22年2月末日現在